

のこさい

議会だより

No.164

3月定例会

平成26年5月15日発行

「議会だより」は、あなたと議会を結ぶ情報誌です。

- 2 平成26年度一般会計予算を修正可決
- 8 市政を問う 常任委員会代表質問
- 10 そこが聞きたい!! 一般質問
- 14 常任委員会活動方針
- 15 視察の成果を市政に生かします

●4月20日/トキワマンサクまつり

平成26年度一般会計予算など

31議案を可決



総額397億5,008万円の平成26年度予算を可決
一般会計予算を修正可決

平成26年度各会計予算 (単位:千円)

会計区分	平成26年度 予算額	平成25年度 予算額	対前年度比 ※▲は減額	
一般会計	21,980,000	21,040,000	4.5%	
特別会計	国民健康保険事業	5,760,000	5,572,000	3.4%
	介護保険事業	3,608,491	3,428,621	5.2%
	後期高齢者医療事業	514,217	505,818	1.7%
	公共下水道事業	1,916,316	1,846,854	3.8%
企業会計	水道事業	1,641,772	1,620,412	1.3%
	病院事業	4,329,288	4,430,406	▲2.3%
合計	39,750,084	38,444,111	3.4%	

平成26年度一般会計・特別会計・企業会計の予算審査を行い、そのうち一般会計については修正案を賛成多数により可決、その他会計を原案のとおり可決した。

なお、一般会計の予算審査については予算特別委員会を設置、付託し、3日間にわたり審査を行った。

【委員長】島田正次
【副委員長】豊田一仁
【委員】楠 浩幸

佐原佳美

渡辺 貢

吉田建二

加藤弘己

竹内祐子

荻野利明

馬場 衛

牧野考二

藤井靖夫

鈴木義則

中村博行

内藤正敏

神谷里枝

二橋益良

また、国民健康保

険・後期高齢者医療事業会計予算については総務経済委員会に、介護保険・病院事業会計予算については福祉教育委員会に、公共下水道・水道事業会計予算については建設環境委員会に付託し、審査を行った。



◆議会の概要

【2月19日】

3月定例会が招集され、開会后、会期を3月20日までの30日間と決め、市長から施政方針説明を受けた。また、市長提出29議案のうち、人事案件5議案を同意、専決処分1議案を承認し、その他の議案について説明を受けた。そのうち平成26年度一般会計予算を予算特別委員会に付託した。

【2月28日】

議案に対する質疑を行い、条例の一部改正・補正予算など15議案を可決した。また条例の制定1議案、平成26年度各会計予算6議案を各常任委員会に付託した。

【3月4日】

3常任委員会委員長の代表質問及び2人の議員が一般質問を行った。

【3月5日】

5人の議員が一般質問を行った。

【3月6日】

5人の議員が一般質問を行った。

【3月20日】

付託していた7議案の各委員長報告を行った。平成26年度一般会計予算については議員提案の修正案が出され、これを可決した。その他の議案は原案のとおり可決した。その後、市長から追加提出された人事案件2議案を同意し、3月定例会を終了した。

予算特別委員会の審査

歳入

問 売却を予定している市有地について説明を。

答 土地開発公社から買い戻した、ときわ三丁目の市街化区域1,844平方メートルと、新居町住吉地区の市街化区域179平方メートルの2カ所である。

問 公共施設整備基金への繰入基準はどのようなになっているのか。

答 平成24年度に公共施設整備基金条例を制定し、運用規定として内規を定めている。対象とする事業は国・県の補助対象または市債の対象とならない市単独事業や、補助対象となる大型事業に付随する市単独事業としている。

歳出

問 公共施設白書作成業務はどのような内容か。今後の実施計画などの事業年度も含まれるのか。

答 主要な公共施設の状況や運営状況を施設診断カルテとして作成する。施設の性質・機能などから地域分布を考慮し、適正化への基本方針までを示したい。具体的な施設の廃止や統合などの事業年度までを含めることは難しいため、まずは基本方針を策定する。

問 天竜浜名湖鉄道経営助成金は今後どのようなようになっていくか。

答 平成26年度から平成30年度の5年間の経営助成要望額は総額10億5,700万円であ

り、沿線市町と県で負担している。湖西市負担分は平成26年度の2,126万1千円から平成30年度には803万円と毎年度減額していく計画となっており、経営努力が徐々に実ってきていると考

問 市民活動センター運営事業を補助事業から委託事業へ変更した理由は。

答 市民活動センターとして行う事業とセンター管理者団体の自主事業を明確に区別するためである。

問 こさい高齢者プラン策定事業の概要は。

答 すべての高齢者が健康で安心して暮らすため、平成27年から平成29年度の3年間の高齢者福祉や介護保険の計画を策定しようとするものである。

◆ 議案一覧 ◆

議案番号	内容
1	湖西市公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて
2	湖西市公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて
3	湖西市公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて
4	湖西市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて
5	湖西市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて
6	平成25年度湖西市一般会計補正予算(第4号)に係る専決処分の承認を求めることについて
7	湖西市消防長及び消防署長の資格を定める条例制定について
8	湖西市職員の公益的法人等への派遣に関する条例の一部を改正する条例制定について
9	湖西市手数料徴収条例の一部を改正する条例制定について
10	湖西市社会教育委員条例の一部を改正する条例制定について
11	湖西市立公民館条例の一部を改正する条例制定について
12	湖西市営住宅設置条例の一部を改正する条例制定について
13	新居弁天駐車場条例の一部を改正する条例制定について
14	湖西市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例制定について

← P4 に続く

問 母親クラブ運営事業に対する補助金を増額した理由は。

答 現在、新居地区にある母親クラブへ鷺津、知波田、岡崎の方も参加している。参加人数が多くなり会場確保の問題から、鷺津地区へ新たにもう1団体、母親クラブを設置するためである。



問 合併処理浄化槽補助金は、平成25年度では早期に予算全額が支出されたために希望者全員へ補助されなかった。平成26年度も同額とした理由と補助予定数は。

答 枠配分方式に基づき予算計上したためである。新設106基、設置替30基を見込んでいる。

問 ごみ減量市民会議の設置目的、協議内容はどのようなものか。

答 新・総合計画において設定したごみ減量の成果指標と目標値について、現状のまま推移すると達成が難しい状況にある。目標を達成するための新たな取り組みとして市民会議を設置し、市民・事業者・行政の協働に基づいたごみ減量活動を推進するために三者が連携するとともに、市民がごみ減量に取り組むための仕組みづくりを検討するものである。

問 畜産堆肥化施設リース料の内容は。

答 畜産堆肥化過程から発生する臭気低減のための施設を畜産農家がリース事業などを活用して導入する場合に助成を行い、住環境の改善と畜産振興を図ろうとするものである。密閉型コンポスト、脱臭槽などのリース料の3分の2を助

問 成額として計上した。わんぱくランドの管理運営委託の検討は。

答 施設の老朽化が激しく、安定した運営のためには多額の修繕費用が必要であるため、独立採算の管理運営が期待できず、委託は難しいという結論である。

問 土地区画整理候補地の基本構想作成の内容は。

答 市街化区域内の集団未利用地の地区について、区画整理事業の可能性を概略的に検証するもので、土地利用計画図の作成と、概算事業費を算出するために事業の施行前後の土地の評価を行い、資金計画を策定し検証する。平成26年度は新所原地区の検証を行い、平成27年度以降は鷺津地区や新居地区の検証を行う予定である。

15	浜名学園組合規約の変更について
16	平成25年度湖西市衛生プラント施設改修工事の契約締結について
17	平成25年度湖西市一般会計補正予算(第5号)
18	平成25年度湖西市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)
19	平成25年度湖西市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)
20	平成25年度湖西市公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)
21	平成25年度湖西市水道事業会計補正予算(第3号)
22	平成25年度湖西市病院事業会計補正予算(第1号)
23	平成26年度湖西市一般会計予算
24	平成26年度湖西市国民健康保険事業特別会計予算
25	平成26年度湖西市介護保険事業特別会計予算
26	平成26年度湖西市後期高齢者医療事業特別会計予算
27	平成26年度湖西市公共下水道事業特別会計予算
28	平成26年度湖西市水道事業会計予算
29	平成26年度湖西市病院事業会計予算
30	湖西市副市長の選任につき同意を求めることについて
31	湖西市固定資産評価員の選任につき同意を求めることについて

審議結果については、議案第23号は修正可決。その他議案は原案可決(人事案件の「同意」、専決処分の「承認」を含む)した。賛否が分かれた議案についてはP7を参照。

問

防災放送を発信するホーンアレイスピーカーの設置工事を行う事により、現在設置されている同報無線の子局を廃止する地域が出てくると考えるが、どのように検証を行うのか。

答

放送が聞こえる有効な範囲を確認し、また、地域の住民の意見を伺いながら、廃止する子局を検証していく。

問

新居関所保存整備事業の概要と進行スケジュールは。

答

平成26年度は大御門や国道301号沿いの歩道整備を行う。その後の計画では女改め長屋や舟会所などを整備し、



平成28年度にすべて完了する予定であったが、文化庁の承認や国庫補助の関係により完了時期が延長する見込みである。

問

中央図書館に学校司書2名を雇用し派遣を行うという事であるが、派遣計画はどのようなになっているか。

答

各小中学校を巡回訪問し、

〔一般会計予算修正案の内容〕

「日本非核宣言自治体協議会」への負担金6万円分を総務管理費から減額し、予備費を6万円増額する。提案理由は次のとおり。

1 核兵器のない世界は誰もが求める世界であり、湖西市でも平成11年3月定例会で非核平和都市宣言を決議した。静岡県原水爆被害者の会西遠支部や原水爆禁止平和

大行進への支援、図書館での原爆写真展など、非核平和都市宣言推進事業や平和教育を実施してきた。協議会に加入し、講演会などに参加することが非核都市宣言事業の前進になるのか疑問である。

2 現在約1,500の自治体が非核平和都市宣言をしているが、同協議会の会員は298自治体にとどまり、静岡県内は4市、愛知県内でも6市である。非核平和運動の理念は受け入れても、自治体連合の力では核のない平和な世界の

本の配架やメンテナンスを行い、図書室の利用促進のための環境整備の支援を行う計画である。中央図書館から派遣する。

3 同協議会は長崎市に本部を置いているが、広島市にも同じような組織がある。非核平和に強い思いを抱く先進的な都市がなぜ統一した運動を推進できないのか。こうした運動は政治思想の影響を受けやすいことを示している。

4 湖西市ではコスト意識を徹底し、行財政改革推進による財源確保に努めなければならぬ環境にある。手の届かない遠大な課題の追求ではなく、身の丈にあった身近で地道な政策、まちづくりや市民サービスの向上へ予算を使うべきである。

本会議での討論

修正案
反対

広島・長崎への原子爆弾、第5福竜丸の被爆、東日本大震災での福島原子力発電所の事故なども、だんだん記憶が薄れている。「宣言自治体が互いに手を結びあい、この地球上から核兵器が姿を消す日まで、核兵器の廃絶と恒久平和の実現を世界の自治体に呼びかけ、その輪を広げるために努力する」という同協議会の設立趣旨にのっとり、小さな自治体であっても核兵器廃絶と平和な社会へ向けて一歩踏み出す必要があると考える。

修正案
賛成

同協議会は結成以来約30年が経過しているが、加盟自治体は非核平和都市宣言をした自治体の5分の1にとどまる。この現状の中、湖西市が加盟・活動しようとしていることは理解に苦しむ。非核平和都市宣言をしたことで、自治体としての意思表示は十分であり、湖西市にとってさらに重要な防災・減災対策に取り組んでもらいたい。同協議会負担金は単なる会費の支出の是非ではなく、加盟の是非という問題として提案・論議されるべきである。

海釣公園駐車場・海浜公園駐車場料金を改定

「新居弁天駐車場条例」の一部改正を全員賛成により可決した。

この改正は、新居弁天海釣公園駐車場及び新居弁天海浜公園駐車場の使用料について、海湖館やわんぱくランドをはじめとした周辺施設全般の維持管理のため、これまで据え置いてきた料金を改定するという内容であった。平成26年7月1日から施行される。

◆本会議での質疑◆

問

普通・軽自動車や大型自動車すべての駐車場使用料を1日500円と同額に改定する理由は。また、海釣公園駐車場の無料時間を1時間から30分にした理由は。

答

現在、海釣公園駐車場の料金徴収は無人自動改札装置で対応しており、車種の識別ができないことが主な理由である。車種区分を失くすことで、バスなどの大型車の利用増加

を期待している。

無料時間を30分としたのは、海湖館など周辺施設の利用促進を図るためである。無料時間帯へ利用者がシフトするところが考えられるが、海湖館利用割引をプレミアムとして付加することで、料金徴収台数の現状維持と店舗運営の安定化を図る。



白須賀公民館の廃止を可決

「湖西市立公民館条例」の一部改正を全員賛成により可決した。

この改正は、白須賀公民館を条例から削除し、公民館としての位置づけを廃止するという内容であった。廃止した理由として「公民館機能が南部地区構造改善センターへ移行していること」「現在は主に自治会関係者が利用していること」「建物の維持管理の課題」などが挙げられた。

衛生プラントの施設改修工事を可決

「衛生プラント施設改修工事の契約締結」を全員賛成により可決した。

この議案は、平成26年2月7日に公募型指名競争入札を執行した結果、落札者である(株)クリタス東海支店と9億5,580万円の工事請負契約を締結する、というものであった。

◆本会議での質疑◆

問

工事の概要は。

答

夏ごろから本格的な工事をを行う。現在のプラント業務を続けながら、解体、水処理設備などの改修工事を実施し、平成28年8月末の完成を予定している。

一般会計補正予算を可決

平成25年度一般会計補正予算(第

5号)を全員賛成により可決した。今回の補正により、予算額は1億2,189万1千円増額され、総額218億1,210万8千円となった。

【補正の主な内容】(▲は減額)

〈歳入〉

● 固定資産税

固定資産税現年課税分を増額
1億9,983万円

● 市有土地売却収入

普通財産公売等による売却収入を増額
3,146万円

● 一般寄附金

新所原駅周辺整備事業及び地震津波対策推進費に係る寄附金を計上
1,448万円

〈歳出〉

● 民間保育所運営費

新規保育園への扶助費の減額
▲4千万円

〔国の緊急経済対策に伴う増額〕

● 道路改良費

大森新道線道路改良事業の工事請負費
2,480万円

新居弁天IC取付道路整備事業の工事請負費

3,485万円

●河川等整備費

準用河川浜名川支川河川改修事業の工事請負費

1億1千万円

●都市計画総務関係経費

東海道本線新所原駅自由通路新設及び橋上駅舎化設計等業務委託料

1億9,898万円

◆本会議での質疑◆

問 民間保育所運営費4千万円減額の理由は。

答 幼稚園から新規保育園へ移る3歳以上児の利用者が見込みよりも少なく、定員数に達しなかったことが主な要因である。

問 新所原駅周辺整備事業への寄附金の総額は。

答 平成25年12月末現在で、

115件1億6,230万9,850円である。

人事案件

◆副市長・固定資産評価員

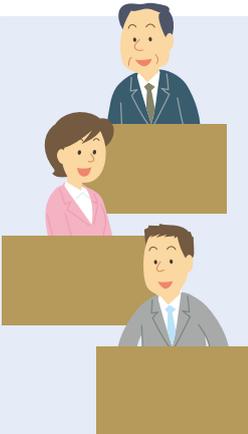
3月31日をもって辞職する宮尾郁男氏の後任として、丸谷由行氏(千葉県千葉市美浜区)を選任することに同意した。

◆公平委員会委員

任期満了となる荻野幸宏氏(新居町浜名)、片桐一成氏(浜松市中区)及び山本博己氏(吉美)を引き続き選任することに同意した。

◆固定資産評価審査委員会委員

任期満了となる佐原弘恭氏(鷲津)を引き続き選任することに同意した。また任期満了となる村田喜昭氏(南台四丁目)の後任として吉原みゆき氏(太田)を選任することに同意した。



賛否が分かれた議案一覧表



議案番号・議案名		結果	楠浩幸	佐原佳美	渡辺貢	吉田建二	加藤弘己	竹内祐子	荻野利明	豊田一仁	菅本利隆	島田正次	馬場衛	牧野孝二	藤井靖夫	鈴木義則	中村博行	内藤正敏	神谷里枝	二橋益良
議案第23号 平成26年度 湖西市一般会計予算	修正案	可決	●	○	●	○	○	○	●	●	—	●	○	欠	○	○	●	●	○	○
	修正部分を 除く原案	可決	○	○	○	○	○	○	●	○	—	○	○	欠	○	○	○	○	○	○
議案第24号 平成26年度 湖西市国民健康保険事業 特別会計予算		可決	○	○	○	○	○	○	●	○	—	○	○	欠	○	○	○	○	○	○
議案第29号 平成26年度 湖西市病院事業会計予算		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	欠	○	○	●	○	○	○

※「○」は賛成、「●」は反対、「欠」は欠席。 ※議長(菅本利隆)は採決に加わらない。

市政を問う

常任委員会 代表質問

委員会って なんだろう？

市議会が扱う議案は、数も多く、内容も幅広い分野にわたります。それらを専門的かつ効率的に審査するため、本議会とは別に委員会を設置し、実質的な審査を各委員会でを行っています。

3常任委員会委員長による代表質問を行い、各委員会が所管する分野の諸問題について所信をいただきました。

常に設置されている「常任委員会」

総務経済委員会

税金、防災、危機管理、財政、国民健康保険、商工業、農林水産業、観光、広報、戸籍、企画、統計などに関する業務の審査を行います。

福祉教育委員会

福祉、健康、介護、教育、保育、湖西病院などに関する業務の審査を行います。

建設環境委員会

都市計画、道路・河川・公園整備、環境美化、上下水道、消防などに関する業務の審査を行います。

また、「常任委員会」以外に、議会の公正かつ円滑な運営を図るための調整や協議を行う「議会運営委員会」と議会だよりを編集する「議会だより編集委員会」、必要に応じて設置する「特別委員会」があります。

総務経済委員会

委員長 藤井 靖夫



危機管理監設置の効果は

▶▶▶ 指揮命令系統の強化が図られた

● 減災対策の取り組み及び推進状況について

問 平成25年度から防災・減災対策を全庁的に取り組むため市長直轄の危機管理監が設置されたが、この効果と問題点は。

答 災害時や平常時において、総括的な立場で指示・命令ができるようになり、指揮命令系統の強化が図られた。問題点としては、副市長が危機管理監を兼務することで、用務が重複することがあった。

問 県の第4次地震被害想定発表後、湖西市の防災対策計画の独自修正はされたのか。

答 県からの提供データ解析を委託業者が行い、湖西市における各種の防災対策上必要なデータとあわせて、避難地・避難路の検証、津波避難計画を策定中である。

問 新たな「湖西市地域防災計画」をどのような基本方針で策定しようとしているのか。また、従来との主な相違点は。

答 計画見直しにあたり、第4次地震被害想定に基づく地震や津波などの被害に対してどのように備え、対応すべきかという指針になることを目指している。相違点は、「第4次地震被害想定」のデータに基づき計画が立案されること、「原子力災害に関する一般的な記述が設けられること」「津波対策、風水害対策など、個別の災害ごとに区分を分けて内容の充実を図ったこと」などが挙げられる。



▲ 災害情報をお知らせする
ホーンアレイスピーカー

福祉教育委員会

委員長 内藤 正敏



市民会館早期開館に向けた計画は

▶▶▶ 平成26年度に耐震補強計画策定を予定

● 市民会館について

問 早期開館に向けたスケジュールや改修計画はどのようにしているか。

答 平成26年度は耐震補強計画の策定を予定している。第三者機関の耐震評定委員会の了承後、実施設計、建設という工程となる。実質の工事期間は1年ほどと想定しているが、工事着手時には財源確保の必要があり、遊休地売却、県の補助金や市債など組み合わせて検討していきたい。



▲市民会館

● 湖西病院と地域医療について

問 浜松医療圏と豊橋医療圏の狭間で、湖西市の地域医療の展望をどのように描いているか。

答 消防本部の統計による平成24年の救急患者の搬送先は、1,827件中887件を湖西病院で受け入れている。直接来院した患者を含めた救急患者数全体も8,150件となっており、今後も救急告示病院としての役割を果たしていきたい。

また、今後増加が予想される高齢者への対応を含め、地域完結型の医療ができるよう診療所や市内病院との連携、さらに医療機関同士が治療方針や情報を共有する地域連携パスの研究開発に取り組み、患者中心の医療連携に努める。

その他の質問 ● 母と子を大切にす湖西を目指して

建設環境委員会

委員長 馬場 衛



高齢化社会を見据えた道路整備の考えは

▶▶▶ 勾配や段差を少なくした整備に努めていく

● 道路の将来像について

問 高齢化社会を見据えた生活道路の整備をどう考えるか。

答 歩道整備は、縦断勾配を可能な限り小さくし車椅子でも通行可能であること、舗装は平坦で滑りにくく水はけの良いものとする、横断歩道接続部の段差は2センチメートルとし、極力段差を抑えることなど、高齢化社会を見据えて行っている。現在は病院や駅の周辺など高齢者の利用が多い生活道路の整備を行っており、今後も高齢化社会に対応できる道路整備に努めていく。



● 環境に優しいまちについて

問 ごみ減量は市民の協力が必須であるが、今後の取り組みをどのように考えているか。

答 市民・事業者・行政の3者がごみ処理の現状と問題点を認識するとともに、ごみ減量の理念や目標などを共有化し、互いに連携を図りながらそれぞれの役割と責任を果たすことが重要だと考える。このため、「(仮称)ごみ減量市民会議」を平成26年度に設置することを予定している。

その他の施策として、ごみ分別・減量説明会、生ごみ減量講習会、広報紙などによる啓発、イベントや店頭での啓発活動、古紙・古布回収拠点の増設などを検討している。

その他の質問 ● 施設の長寿命化について
● 住みやすいまちづくりについて

そこが聞きたい!!

一般質問

お答えします



一般質問は、議案と関係なく市の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来の方針について所信をただし、あるいは報告・説明を求めるもので、定例会に限って行われます。

今3月定例会では、12人の議員が一般質問を行いました。

湖西市公式サイト

会議録を発行するまでの間、市ウェブサイトでは本会議の映像を見ることができます。

<http://www.city.kosai.shizuoka.jp/>

湖西市HP

湖西市議会

本会議インターネット放送

本会議の放送はこちらから(USTREAMへ)

遊休農地解消のための対応は

▶▶▶ 集落における中核農家へ集約していきたい



● 農業施策について

問 遊休農地解消への対応状況は。

答 農業委員が中心となり農地の利用状況を調査し、指導・確認を行っている。問題解決のための計画のひとつである「人・農地プラン」においては、遊休農地の新たな受け手の集落内での発掘や中核農家への集約により解消を促進する方針である。



渡辺 貢

問 未舗装農道や土側溝の排水路に関する管理への対応はどう考えるか。

答 耕作者などしか利用しない未舗装道路については、今後も大型事業が相次ぐことから市が単独で整備することは難しい。耕作者自身での適正管理については土地改良区などを通じて啓発していきたい。

家庭における教育のあり方をどう考えるか

▶▶▶ 教育の出発点で非常に重要であり、家庭教育への支援を行っている

● 家庭教育について

問 核家族化や地域とのつながりが希薄化する中、家庭における教育のあり方をどう考えるか。

答 家庭教育はすべての教育の出発点であり、非常に重要である。教育委員会の各担当課では家庭教育に対するさまざまな支援や事業を行っており、今後も事業の広報や情報提供に努め、支援を必要とする保護者に応えていきたい。

問 子どもの教育やしつけに不安を持つ親への支援の見解は。

答 保護者が抱える不安や悩みを共有することが大事である。学校では家庭訪問や面談、教育相談などを実施し、話し合う機会を設けている。社会教育課では「ふたば学級」「家庭教育学級」を開催し、同世代の子育て中の親同士の交流を通じた悩みの共有、しつけの仕方やほめ方、叱り方など学習機会を提供している。



▲家庭教育学級



竹内 祐子

その他の質問

● 施政方針について

市内市民活動推進会議の進捗状況は

▶▶▶ 平成26年2月に1回目を開催し、情報共有に取り組んでいる

● 市民協働のまちづくりについて

問 市民協働のまちづくりのための市内市民活動推進会議の進捗状況はどうか。

答 平成26年2月に1回目の会議を開催した。市民協働を着実に推進するための情報交換を行うとともに、課題や解決策などを考えながら現場における協働推進の情報共有に取り組んでいる。

● 行財政改革について

問 行財政改革アクションプランの目標達成のため、市長はどのように進捗状況を把握し、目標達成に向けた行動をしているか。

答 効率的な財政運営のため、新年度予算を決めるときに、行財政改革推進本部長として事業の進捗を把握しながら目標達成に向けた判断をしている。また、毎月、課長から主な事業の進捗状況の報告を受けている。



楠 浩幸

観光マップやパンフレットを利用したイベントの企画は

▶▶▶ 新たな企画を組み、さらなる情報発信を行っていく



▲観光資源みがき隊

● 観光資源の活用について

問 各種観光マップやパンフレットを利用し、地域や県内外の人に参加してもらえるイベントなどの計画はあるか。

答 現在、「観光資源みがき隊」が地域の観光スポットを再発見するための試みを行っており、新たな企画を組んでいきたいと考えている。また、インターネットで湖西の観光情報などが検索できるよう情報発信をさらに進めていくことも考えている。

問 浜名湖観光圏整備計画への係わりと舟運実験の実証結果はどうか。

答 浜名湖観光圏は浜松市と共同で計画を策定しており、観光庁の採択を受けられるよう議論を重ねている。舟運実験のねらいの一つには観光が位置づけられており、県はこの事業を継続して支援すると表明している。需要拡大が期待できると評価されたと理解している。



加藤 弘己

新・総合計画の見直しの現状と考え方は

▶▶▶ 実施計画は毎年見直す方式に変更し、「選択と集中」を基本姿勢とする

● 新・総合計画について

問 新・総合計画の見直しの現状と見直しの基本的な考え方は。

答 基本構想は計画中途での見直しは予定していない。基本計画は5年で見直すこととなっており、平成27年度に見直しを考えている。

実施計画は3年ごとに見直すこととしており、現在作業中である。なお、これまでの3年間の状況から、毎年の見直しが必要と判断し、3年先を

見越して毎年見直す方式に今回から変更することとした。このことにより各事業の状況をより的確に反映できるものとする。見直しにあたっては、厳しい財政状況でも市民満足度を高めていくため、「選択と集中」を基本姿勢とし、コスト意識の徹底と創意工夫による行政運営の効率化を推進していく考えである。



豊田 一仁

消防指令装置及び消防無線の整備計画は

▶▶▶平成26年度に整備更新を行い、平成27年4月から運用予定である

●消防について

問 消防指令装置と消防無線の現況と今後の整備計画を伺う。

答 指令装置は設置後13年が経過し軽微な不具合が発生していることから、重大な故障につながらないように保守を行っている。消防無線は電波法により平成28年5月までにデジタル方式へ移行することとなっている。これらのことから、平成26年度に消防・救急無線デジタル化及び高機能消防指令センターの整備更新を行い、平成27年4月からの運用開始を予定している。

●照明のLED化について

問 市役所庁舎及び公共施設の照明のLED化の進捗状況は。

答 庁舎や各施設は平成24年度からLED灯を含む省エネルギー型の照明の設置や取り替えを順次行っている。防犯灯についてもLED灯を順次設置している。



▲現在の消防指令装置



牧野 考二

その他の質問

- 防犯カメラについて
- 施政方針について

職員の昇格試験制度の導入は

▶▶▶難しい面もあるが検討していく



鈴木 義則

●人事評価制度について

問 職員が係長や課長などへ昇格する際の資格試験制度を導入する考えはあるか。

答 資格試験制度導入自治体では受験者数が減少するなどの問題が起きている。また、必要なポストに求める人材をどのような内容の試験で評価・判断するか非常に難しい。しかし、試験制度の導入は検討事項としていきたい。

●観光について

問 県が選定した遠江八景を今後の湖西市の観光事業にどう生かしていくか伺う。

答 遠江八景のうち二景が湖西市内、二景が湖西市の隣接地の瀬戸と弁天島であることから、これら景観地をルート化し、ビューポイントの紹介を進めたい。今後も浜松市との連携を深めていきたいと考える。

その他の質問

- 総合計画について
- 公園整備について

空き家対策の条例制定は

▶▶▶統一的な法令に沿った形が望ましいという認識であり、今後も検討

●空き家対策について

問 空き家の増加は、環境衛生・耐震・防犯上の問題を引き起こす。資金がない市民へ解体費用を貸し付けるなど、空き家対策の条例制定の考えは。

答 空き家問題は全国的な問題で、条例制定は統一的な法令に沿った形が望ましいという認識である。今後も条例化を検討しながら、空き家対策を進めていく。

その他の質問

- 施政方針について

●市内中小業者への消費税増税の影響と対策について

問 価格に増税分を転嫁できない業者への対応は。

答 消費税転嫁対策特別措置法により、商品や役務への消費税転嫁を拒む行為が禁止された。法の周知と禁止行為に対する関係機関との協力体制を確保し、対策セミナーや相談窓口を開設している商工会との連携を行っている。



荻野 利明

市民と新年度予算の意見交換を行い、協働推進しては

▶▶▶ わかりやすい説明書作成後に自治会懇談会などで活用し、新年度予算への理解を求めたい

● 予算・施政方針について

問 市民の理解を得るために市民と新年度予算の意見交換会を行い、市長の説明責任を果たした上で協働推進に取り組んではどうか。

答 現在、ウェブサイトや広報により、新年度予算の市民への速やかな情報提供を心がけている。また、わかりやすい予算説明書の作成を検討しており、作成後は自治会懇談会などで活用し、新年度予算への理解を求めたい。

問 予算編成に当たり、「選択と集中」に取り組んだとのことであるが、各部署と市長はどのように調整したか。

答 各部署が「選択と集中」を基に予算を編成し、予算査定案を市長へ提出した。査定に当たっては、金額の大小にかかわらず、すべての事業の重要性や必要性を検証した。

その他の質問

- 財源確保について
- 施政方針について



神谷 里枝

産後ケア事業を開始できないか

▶▶▶ 産後ケアとして乳児訪問時に母親へのケアを行っている



● 産後ケア事業について

問 産後の入院期間短縮や核家族化が進む中、心身のケアやサポートを行う産後ケアは必要な支援である。少子化・産後うつ対策の観点から、産後ケア事業を開始できないか。

答 湖西市では産後ケアとして、生後1カ月半から2カ月の間に乳児訪問を行い、その際に悩みを抱えこまないように母親へのケアを行っている。また、出産医療機関で気になる点があった場合は湖西市へ報告がされており、早期の乳児訪問も行っている。



佐原 佳美

● 事前防災対策について

問 住宅耐震化・家具固定推進事業の進捗は。

答 平成25年度の事業においては、住宅耐震化を14件行い、住宅耐震化率が約87%となった。家具固定は42世帯に120個を設置し、平成17年度の事業開始から635世帯への実施となった。なお、自主防災会の推薦により家具固定を無料で実施する取り組みを平成25年度から始めたが、推薦はなかった。

寄附文化定着の今後の展開は

▶▶▶ 実績を重ねて定着を図りたい

● 寄附文化について

問 寄附文化のさらなる定着を目指し、今後はどのように展開しようとしているか。

答 湖西市を舞台にした映画製作の際に多くのエキストラやボランティアに協力いただいた。このような実績を重ねる中で寄附文化の定着を図りたい。

● 施政方針について

問 行財政改革の推進体制は。

答 課長を構成員とした行財政研究委員会と、市長を本部長、部長を構成員とした行財政改革推進本部において検討・協議し、全庁的に行財政改革の推進を図る。また、市民を中心に組織された行財政改革委員会は、平成26年度に行財政改革審議会として条例化し、推進を図る。



吉田 建二

認定道路の未登記道路の解消は進むのか

▶▶▶ 関係者の代替わりの経過不明などの理由により解消には時間がかかる

●市道について

問

認定道路の未登記道路の件数は。また、未登記の解消は進むのか。

答

未登記道路の路線数は確認できないが、認定道路内の個人名義の土地は1,498筆ある。寄附による所有権移転をお願いしているが、関係者の代替わりの経過不明や寄附の理解が得られないなどの理由により、解消には時間がかかる。

●施政方針について

問

保育園・幼稚園教育の充実のためにどのような施策を行うのか。

答

子ども達の小学校入学後の学校生活を円滑にすることを柱とし、「心身共に健やかに育つための取り組み」「幼稚園教諭と保育士の資質・指導力向上」「学ぶための基本姿勢習得」を施策として取り組んでいきたい。

その他の質問 ●湖西病院について



二橋 益良

常任委員会 活動方針

常任委員会の平成26年度の活動方針をご紹介します。以下の項目に基づいて調査・研究し、市への提言なども行っていきます。

総務経済委員会

重点
項目

- 想定される南海トラフ巨大地震に対する防災・減災対策
- 行財政改革の取り組み
 - ◆ 市民協働による新・総合計画の推進
 - ◆ 人事評価制度改革
 - ◆ 新産業・新技術などの育成・誘致による地域産業の活性化

福祉教育委員会

重点
項目

- 母と子を健やかに育てる幼児教育と子育て支援の施策
- いきいきと暮らすことのできる高齢者福祉施策の推進
- 湖西病院の経営改善の取り組み

建設環境委員会

重点
項目

- 地域の発展、緊急輸送としての防災機能をもった高規格道路の建設
- 減臭に向けた臭気対策
- 消防の施設、設備、体制整備と充実
- 環境を意識した衛生プラント施設改修事業

視察の成果を 市政に生かします

より良い湖西市を目指して、先進的な取り組みを行っている他自治体へ視察を行いましたので、報告いたします。



福祉教育委員会

1月10日

施設の老朽化を見込んだ 財源確保の必要性を感じた



▲藤枝市民会館にて

視察先：静岡県藤枝市

目的：市民会館の改修について

平成25年10月に耐震リニューアル工事を行った藤枝市民会館を視察した。平成9年から耐震診断や市民調査を行い、市長と副市長を筆頭に「戦略会議」を設置し、市民会館改修の検討が行われてきた。このような取り組みが大変重要であることを認識した。

湖西市でも普段から緊急に対応できる財源確保措置の必要性を痛感した。

議会だより編集委員会

1月22日～23日

親しみやすい紙面づくりに さらに取り組んでいく



▲滋賀県甲賀市にて

視察先：大阪府和泉市、滋賀県甲賀市

目的：議会だよりの編集について

各市の特徴として、和泉市では、議会からの報告と一般質問の報告に重点をおき、決められたページで編集することを徹底していた。議会だよりの最終ページに1部あたりの単価を表示するなど、大阪らしいコスト意識も伺えた。甲賀市では、企画記事、写真特集などを盛り込み、親しみやすい紙面づくりに配慮していた。広報紙コンクールなどで複数回の受賞歴があり、高い技術での編集が行われていると感じた。

こさい議会だよりにおいても、記事の読みやすさや親しみやすさについてさらに研究し、取り組んでいきたい。

総務経済委員会

1月29日

単年度単位のプログラムの 進捗管理方法は大変参考 になった



視察先：長野県飯田市

目的：「地域経済活性化プログラム2013」について

地域経済自立度70%を目標に、毎年産業界や市民を交えた地域活性化プログラムを検証し、1年単位の策定を行っていた。平成25年度は地域産業活性化のための10項目の重点プロジェクトが取り組まれ、庁内では部署を横断した事業や現場主義を徹底した職員配置が行われていた。単年度単位のプログラムの進捗管理方法は大変参考になった。

市議会からのお知らせ

季節のひとこま
4月23日 / 夏みかん狩り
(鷺津保育園)



● 6月定例会の予定 ●

6月 2日(月) 10:00～	本会議第1日
9日(月) 10:00～	本会議第2日(一般質問)
10日(火) 10:00～	本会議第3日(一般質問)
11日(水) 10:00～	本会議第4日(一般質問)
13日(金) 10:00～	本会議第5日
16日(月) 10:00～	総務経済委員会
17日(火) 10:00～	福祉教育委員会
18日(水) 10:00～	建設環境委員会
23日(月) 10:00～	本会議第6日



予定が変わることもありますので、議会事務局へお問い合わせください。

……… 議会傍聴に来ませんか? ……

- どなたでも傍聴できます。
- 当日、市役所3階議会事務局へお越しください。
- 予定が変わることもあります。事前に議会事務局 (TEL.053-576-4791) へお気軽にお問い合わせください。

傍聴にこられない方も市議会の様子をご覧頂けます。

▶ 浜松ケーブルテレビ チャンネル・ウィンディ

本会議の一般質問が、浜松ケーブルテレビ「チャンネル・ウィンディ」で放映されます。

▶ 湖西市ウェブサイト インターネット放送

本会議のインターネット放送を市のウェブサイトからご覧になれます。

注目



… 市民の皆様の声をお寄せください …

議会運営に役立てるため、議会に対する意見、傍聴や議会だよりの感想などについてのお便りをお寄せください。郵送・ファックス・Eメールで受付しています。なお、内容により、議会だよりに掲載する場合がありますのでご了承ください。

規定

- ▶ 住所、氏名、電話番号を明記してください。
- ▶ 議会だよりへの掲載を希望しない方は、その旨をご記入ください。
- ▶ 議会だより掲載時に趣旨を変えず直すことがあります。
- ▶ お便りの返却はいたしません。

あて先

湖西市議会 議会だより編集委員会
〒431-0492 静岡県湖西市吉美3268番地
TEL.053-576-4791/FAX.053-576-0331
E-mail▶ gikai@city.kosai.shizuoka.jp

編集後記

新緑が目鮮やかな季節となりました。

3月定例会では、厳しい財政事情の中で新所原駅周辺整備事業など大型事業に対応するための新年度予算について、各項目にわたり慎重な審査が行われました。今後は、住みよい湖西市のため、この予算が適正かつ効果的に執行されるよう議会としてチェックをして参ります。

さて、「市民が主役で、活発な議論をする、見える議会」を目指し、市議会のあり方についての見直し作業を進めています。特別委員会を頻繁に開催し、議員間討論の活性化や常任委員会活動の充実などの話し合いを重ねているところであります。5月開催の議会報告会での市民の皆様のご意見も参考にさせていただきます。よろしくお願ひ致します。(渡辺 貢)

編集委員

(◎は委員長、○は副委員長)

- | | |
|--------|--------|
| ◎菅本 利隆 | ○藤井 靖夫 |
| 佐原 佳美 | 渡辺 貢 |
| 加藤 弘己 | 竹内 祐子 |
| 島田 正次 | 中村 博行 |

次回は

➔7月31日発行予定です

湖西市議会HPも
ご覧ください

